

水銀の飛散防止に協力を！

**“水銀体温計・水銀血圧計・蛍光灯・乾電池”
のごみ出しに注意願います！**

水銀の人為的な排出から人の健康や環境を守るため、“水俣条約”が採択され、国際的な水銀対策が進められています。

水銀体温計・水銀血圧計・蛍光灯や古い乾電池には、水銀が含まれています。
各家庭においては、水銀を含んだ製品を割らないように扱い、不要になったら指定日にごみステーションに出してください。

●ごみの出し方（分別）

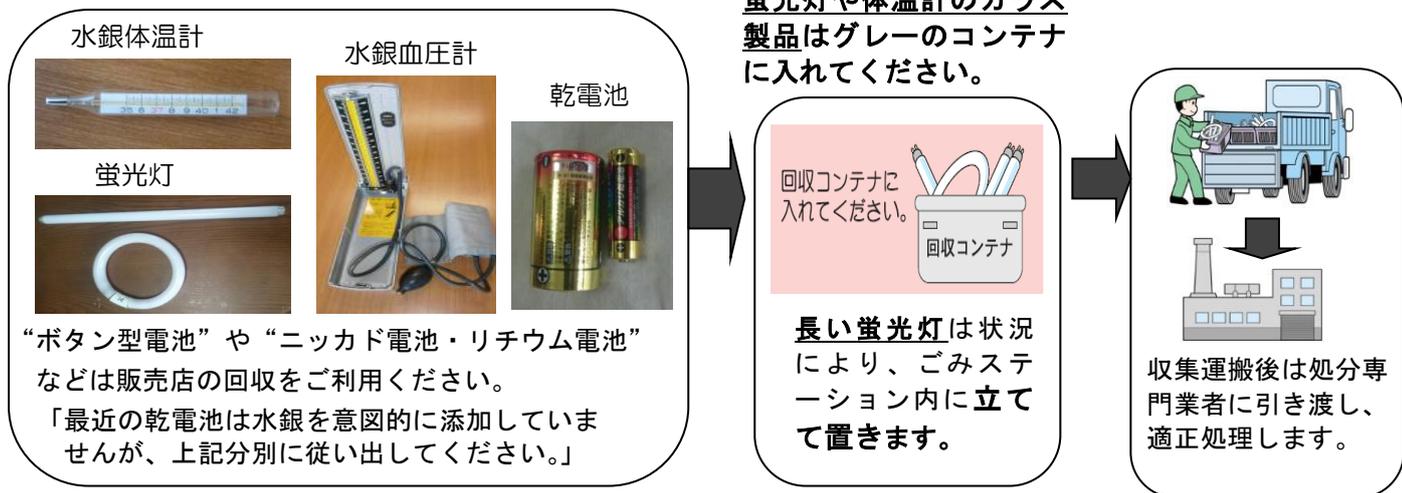
下段参照

水銀体温計や蛍光灯は、今回、追加配備する“グレーのコンテナ”に入れて出します。

□京ヶ瀬・水原・笹神地区 ～「燃えないごみ」

□安田地区 ～「有害資源ごみ」

ごみ分別に変更ありません。
蛍光灯等は割らないように！



●グレーのコンテナは9月より、順次、ごみステーション等に1個追加配備します。

注意～特に、割れた蛍光灯は、ガラス破片のこぼれ落ちが想定されますので、今回配備するコンテナをご利用ください。

— 問合せ先：阿賀野市役所 民生部 市民生活課 環境係 —

電話 62-2510（内線：2105、2106）

裏面あり

水銀は、もともと岩石に含まれ、自然放出や人為的な排出により、大気・海・川・土壌などの間をめぐっています。発展途上国などでは、小規模な金採掘や工業活動等から人為的な放出が今なお続いており、環境汚染や健康被害が発生しています。

そこで、水銀の排出から人の健康や環境を保護することを目的に“水銀に関する水俣条約”が採択され、国際的な水銀対策が進められています。

新潟県では、第2の水俣病を経験した県として、水銀を減らす社会に向けた取組みを率先して推進しています。

市は、一般廃棄物の適正処理を推進する立場で、水銀を含んだ使用済製品からの水銀飛散防止等に取り組めます。



○×クイズ

問い：水銀には、いくつか種類がある。

答え： ○ 金属水銀、無機水銀、有機水銀があります。常温で唯一の液体金属であり、金や銀など多くの金属と合金を作りやすい性質をもっています。また、比重が重く熱伝導率が液体で最も大きい物性を利用し、体温計や血圧計などに使用されました。

問い：水銀体温計を割ってしまい液体（水銀）がこぼれたので、シンクに流し処理した。

答え： × 水銀が気化した蒸気は吸い込むと中毒症状が出る場合がありますので、もし水銀体温計などが割れてしまったら、まずは部屋の換気をしましょう。次に、こぼれた水銀は、ゴム手袋をはめて水銀を集め、密閉できる容器やビニール袋に入れた後、マジックペン等で「水銀」と注意書きし、分別に従い排出しましょう。

台所のシンクに流したり、紙などに吸着させて可燃ごみとして出すと環境への排出になりますので、やめましょう。

分別＝京ヶ瀬・水原・笹神地区～不燃ごみ、安田地区～有害資源ごみ

問い：水銀を使用しない商品が開発されている。

答え： ○ 蛍光灯はLED照明へ、水銀体温計は電子体温計などの代替製品が開発されています。買い換えの際は、代替製品を購入しましょう。

問い：阿賀野市から排出される水銀は殆どない。

答え： × 家庭から排出された蛍光灯や電池の回収量 17,000kg (H26) から推計すると水銀は 440 g/年となります。この水銀量は、水銀を含んだ製品の減少などにより年々減少すると思われませんが、市では処理技術等を持つ専門業者に処分を委託する等、法に基づいた適正処理に努めます。